

宮城県子ども総合センターです。

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当センターは、多様な子どもの育成支援、精神科診療、人材育成など、子どもや家庭、関係機関等を総合的に支援する子ども総合センターとして平成13年に設置されました。
- ・平成15年より精神科通院医療の一形態である子どもデイケア事業に取り組んでいます。
- ・利用対象者は、集団生活に支障を来し、精神医学的な関わりが必要な6歳から15歳までの子どもです。
- ・一人一人の子どもの発達や状態に応じ、医学的、心理学的、教育的アプローチを通じて子どものソーシャルスキル、情緒の発達、学習をサポートします。また、子どもの発達における悩みや疑問を家族や学校と一緒に考え、子どもの状況の改善に向けてお手伝いします。
- ・デイケアのスタッフは、医師、保健師、心理士、教師、保育士、作業療法士で、プログラムによっては非常勤講師も担当しています。

＜リハビリテーションに関する連絡先＞

宮城県子ども総合センター
住所：〒981-1217 名取市美田園 2-1-4
電話：022-784-3578 / ファクシミリ：022-784-3596



ディールーム入り口



ディールーム

岩沼
地区

リハビリネットワーク通信 第12号

(平成30年1月発行)

発行元：
宮城県仙台保健福祉事務所
健康づくり支援班
022-363-5503 (直通)

Qにお答えします

Q. お子さんと保護者に対し、作業療法士としてどのような関わりをしていますか？

また、他機関との連携はどのようにしていますか？

(岩沼市健康福祉部社会福祉課)

A. お子さんの発達段階や生活経験を考慮した関わりを持っています。子どもが自己選択・自己決定できるような環境設定や自己肯定感を育めるような関わりを心がけています。保護者とはお子さんの変化の共有や家庭での状況などをこまめに情報交換しています。

連携については、学齢期のお子さんが対象のため、主に学校、主治医と連絡を取り合い、情報交換を行っています。

バトンでつなごう
一問一答 ～紹介リレー～



次回：宮城県立精神医療センター
さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

Q. デイケアの活動の中で工夫していることを教えてください。

「休憩に 楽しむ卓球 部活なみ」(教員)

【解説】休憩時間に子ども達の間では卓球が流行っています。日々上達する子ども達、さすがです！

「えさ残し 動かぬカメラに 冬感じ」(通所利用者様)

【解説】デイケア開設当時から二匹のアイドルカメラがいます。お世話をしてくれるスタッフや子ども達を見ると動きが激しいのですが、このところ冬眠が近づいているようです。

「デイケアで 食べるラーメン 格別だ」(通所利用者様)

【解説】デイケアのメンバーと食べる楽しい昼食時間について詠んでいます。

リハビリ川柳